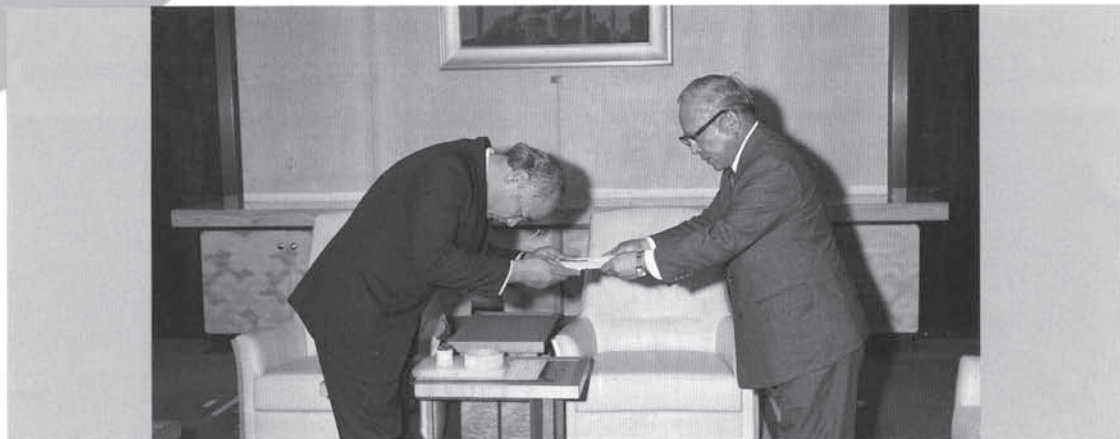




全国で社会福祉助成金を贈呈

■安田火災
記念財団

安田火災記念財団では、50の社会福祉諸団体（27都道府県所在）に、総額4,000万円を助成することを決定。11月18日、本社ビル43階双鶴の間で、贈呈式を行い、後藤理事長が、東京都所在のくにたち共同作業所、

共同ホームはらからの家、すこやか作業所、のびのび工房、あさやけ鷹の台作業所に助成金を贈呈しました。また、26道府県では、安田火災の各支店長が理事長を代行して、同日以降にそれぞれの地域の諸団体へ贈呈

しました。

同財団の社会福祉助成は今回が12回目で、合計3億1,053万円を401団体に贈呈しており、今後一層広く実施することを目指しています。

故勝山 SASY 初代会長 の墓前に報告

■代理店部

「ノンマリン対T比100」は、当社の念願であったのみならず、ともに30年間歩んできたSASY懇話会の念願でもありました。この喜びを報告しようと、去る11月28日、午前8時30分、SASY懇話会の生みの親である故勝山卓太郎氏の眠る善徳寺（北区赤羽）に、後藤社長をはじめ役員とSASY本部役員40名余が集まりました。

当日は湯藤代理店部長の司会で始

まり、全員の礼拝、黙禱に続いて、まず木下SASY懇話会会長が報告、続いて後藤社長がこれまで、ともに苦勞をわけあつてきた代理店に感謝の意を含め、ノンマリン対T100と100周年事業の報告に続き、次のように決意を語りました。

「…安田火災は新世紀に向かって『世界のリーディング・カンパニー』を目指して歩み始めました。その行く方にあるものは『世界の安田』で



あり、ここではT号作戦はもはや踏破すべき途上の一里塚であります。

“力”と“徳”を合わせもつ『世界の安田』、期待されるニューリーダーとして、これからも代理店の皆様と社員一同、力を合わせて頑張っています」

最後に参列者一同、墓前に香を手向けてそれぞれの思いを告げ、きたるべき年度末にも、また輝かしい報告ができるように、一層の努力を誓いました。

